

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員会議などを活用した、理念についての話し合いの場で、現状のケアの振り返りなどを行い、職員が理念を意識して取り組めるような工夫を期待したい。	職員一人一人が法人・事業所の理念を理解し、理念に基づいた日々のケアに意識し取り組めるようにしていきたい。	職員のミーティングを利用し、理念について話し合う時間を作る。理念に基づいたケアとはをテーマに施設内での勉強会を開催する。	12ヶ月
2	4	家族の要望や地域との関わり等、事業所の役割を果たせるよう運営推進会議を活用することを期待したい。	現在はコロナの影響で運営推進会議は書面のみでの開催としている。アンケートや意見をいただけるような工夫を行い反映できるようにする。	運営推進会議の在り方を検討。また、書面での開催でも	12ヶ月
3	10	コロナ禍で家族と会える機会も減少しているので、家族の意向を聴取する方法の工夫を期待したい。	運営推進会議録の送付時にアンケートや要望を記入できる用紙を入れる。また、面会についても検討し会える機会を増やし意向等の聞き取りができるようにする。	アンケートを作成する。リーダー会議等で検討し内容を決定する。聴取した意向をケアプランに反映していけるよう職員での話し合いを行う。	12ヶ月
4	20	入居時やアセスメント時に聞いたなじみの人や場との関係を継続できるような工夫を期待したい。	なじみの人となるようなグループホーム内での関係づくりを行っていく	なじみのおおむね家族となる場合が多く、場所といっても継続していくのは困難である。職員との会話の中で懐かしんだり回想したりして、昔の記憶を思い出してもらう時間を作るようにする。	12ヶ月
5	23	入居者が望む生活の実現に向けて、思いや意向をもとに入居時から把握できる工夫を期待したい。	情報の共有を図り職員が把握する。入居時と意向が変化することも多いので、日常の会話の中から読み取れるようにする	意向を聞き出せたりしたらそのままにせず、記入するなど忘れないようにする。意向ノートのようなものを作成し職員が把握できるようにしていく。また、ミーティング時に話し合いができるようにしていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。